

## 2 用語解説

	用語	解説
あ	IoT	インターネット・オブ・シングス(Internet of Things)の略称で、工場設備や航空機、発電所等のインフラ、自動車や家電など、様々なモノをインターネットにつなぎ、センサーなどから得たビッグデータを分析し、コスト削減や生産システムの効率化・最適化につなげる。 (50ページ参照)
	あいち産業科学技術総合センター	「知の拠点あいち」にある本部において、高度計測分析機器による依頼試験、研究成果の活用支援や科学技術の普及啓発等を行うとともに、「産業技術センター」(刈谷市)を始め県内各地の各技術センターにおいて地域企業への総合的な技術支援を行う機関。
	あいち科学の甲子園	全国の科学好きの生徒が競い合う場を構築することにより、科学好きの裾野を広げるとともに、トップ層を伸ばすことを目的として、開催される「科学の甲子園全国大会」の愛知県代表校を選抜する大会。高等学校ごとに1チーム6人から8人までで参加し、科学技術・理科・数学等における知識や技能、実験及び工作等の技能を競う。
	あいち科学の甲子園ジュニア	科学好きの裾野を広げるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成することを目的として、全国の中学生が都道府県を代表して科学の思考力・技能を競う「科学の甲子園ジュニア全国大会」の愛知県代表校を選抜する大会。
	あいち健康長寿産業クラスター推進協議会	健康長寿分野での産学・医工連携を図り、新たな事業・取組を創出することを目的とした協議会。企業や大学、自治体等を構成員とする。
	(一社)愛知県発明協会	明治40年4月23日「工業所有権保護協会東海支部」として設立。知的財産権の振興・奨励活動を通じて、当地域の科学技術や産業の発展に貢献。
	あいち国際ビジネス支援センター	海外展開を図る県内企業への支援を行う国際ビジネスに関するワンストップサービス拠点。海外の経済・産業情報、投資環境などに関する情報提供、相談など、幅広い支援を行う。
	あいちサイエンスフェスティバル	県内の大学、研究機関、科学館、博物館等の参加機関等が協力して広く県民を対象に科学技術に関する情報発信を行うイベント。
	(公財)あいち産業振興機構	県内の中小・小規模企業を支援するため、愛知県の100%出損のもとに設立された公益法人で、知事から法律に基づき指定された県内唯一の中小企業支援センター。
	あいち中小企業応援ファンド	地域資源を活用して新事業展開を図る中小企業者を支援するファンド。あいち産業振興機構が関連業務を実施している。
	愛知の発明の日	豊田佐吉翁が動力織機の特許を取得した8月1日を愛知県独自の発明の日として指定し、各種啓発活動を実施。(71ページ参照)
	あいちベンチャーハウス	IT産業の集積・発展を図ることを目的として、県が、創業後5年未満のITベンチャー企業等に対し、事業スペースを賃料無料で提供するとともに、インキュベーションマネージャーを中心とした多様な技術的・経営的サポートを実施する施設。
	あいちロボット産業クラスター推進協議会	産学行政が連携して、ロボットの研究開発や生産の拠点を形成し、新技術・新製品を創出していくことにより、世界に誇れるロボット産業拠点を形成することを目的とする協議会。
	ITS	Intelligent Transport Systems(高度道路交通システム)の略。情報通信技術を用いて人と車両と道路を結び、交通事故や渋滞などの道路交通問題の解決を図る新しい交通システム
	新しい公	地域の諸課題の解決のための社会的活動に対して、自発的、主体的に参加する市民、NPO、企業等。
い	育成者権	植物の新たな品種に対して与えられる知的財産権。
	意匠	新規性と創造性があり、美観を起こさせる外観。物品の形状・模様・色彩のデザイン。産業財産権の一つ。
	イノベーション	新製品の開発、新生産方式の導入、新市場の開拓、新原料・新資源の開発、新組織の形成などによって、経済発展や景気循環がもたらされるとする概念。
	違法ダウンロード	違法にネット上に公開された音楽や映画、ゲーム等を、違法と知りつつダウンロードすること。
	インキュベート施設	「インキュベーション」とは、英語で「(卵などが)ふ化する」という意味で、これになぞらえ、起業家の育成や、新しいビジネスを支援する施設のこと。
	インダストリー4.0	ドイツ政府が推進する製造業の高度化を目指す戦略的プロジェクトであり、情報技術を駆使した製造業の革新の事を差す。

え	営業秘密	企業が経営上秘密として保護すべき情報等。不正競争防止法では、法律により保護される営業秘密は、秘密管理性、有用性及び非公知性の3要件を満たすことが必要であるとされている。
	AI	コンピューターで、記憶・推論・判断・学習など、人間の知的機能を代行できるようにモデル化されたソフトウェア・システム。人工知能。
	MOT	MOT(Management of Technology)とは、技術力をコアコンピタンスとする企業・組織が、その事業の持続的発展のために研究開発や技術開発の成果を事業化に結びつけ、新たな経済的価値を創出していくマネジメント。あるいはそれを推進する学問的研究や教育プログラムなどを指す。
お	OJT	OJT(On-the-Job Training)とは、企業などでの社員の教育・訓練法の一つで、現場で上司や先輩が指導役となり、実際の業務を行なう中で必要な知識や技能を身につけさせていく方式。
	オープンイノベーション	自社だけでなく他社や大学、社会起業家などが持つ技術やアイデア、サービスなどを組み合わせ、革新的なビジネスモデルや革新的な研究成果、製品開発、サービス開発につなげるイノベーションの方法。
	オープン・クローズド戦略	企業等が保有する特許群などをコア技術とそうでないものに分けて、前者については実施を独占(クローズ)するとともに、後者に対しては他人に実施を許可する(オープン)戦略のこと。
か	外国出願支援事業	中小企業等の戦略的な外国出願を促進するため、外国への事業展開等を計画している中小企業等に対して、基礎となる出願(特許、実用新案、意匠、商標)と同内容の外国出願にかかる費用の半額を助成する制度。
	科学技術基本計画	平成7年11月に公布・施行された科学技術基本法に基づき、科学技術の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な計画であり、今後10年程度を見通した5年間の科学技術政策を具体化するものとして、政府が策定するもの。
	(公財)科学技術交流財団	当地域における科学技術に関する活動を支援・推進するため、愛知県及び地域の経済界、学界の支援により、平成6年9月に設立され、幅広い研究者・技術者の交流を基盤として、共同研究の推進や企業の技術開発支援、国等の研究開発プロジェクトへの参画を推進している。
き	技術シーズ	事業化、製品化の可能性のある技術やノウハウなど。
	技能五輪・アビリンピックあいち大会2014	青年技能者の技能レベルの日本一を競う技能競技大会である「技能五輪全国大会」と、障害のある方々が、日頃培った技能を競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々に障害のある方々に対する理解と認識を深めてもらい、その雇用の促進を図ることを目的として開催される「全国障害者技能競技大会」で、平成26年11月～12月に愛知県で開催された。
	技能五輪国際大会	正式には、国際技能競技大会と呼ばれ、参加各国における職業訓練の振興と青年技能者の国際交流、親善を図ることを目的として2年に1度開催される。
	技能五輪全国大会	青年技能者の技能レベルの日本一を競う技能競技大会であって、次代を担う青年技能者に努力目標を与えるとともに、大会開催地域の若年者に優れた技能を身近にふれる機会を提供するなど、技能の重要性、必要性をアピールし、技能尊重機運の醸成を図ることを目的としている。出場選手は、各都道府県職業能力開発協会等を通じて選抜された者(原則23才以下)で、国際大会が開催される前の年の大会は、国際大会への派遣選手選考会をかねている。
く	クラウド	データを自分のパソコン等ではなく、インターネット上に保存する使い方、サービスのこと。自宅、会社、外出先など、さまざまな環境のパソコンや携帯電話からでもデータを閲覧、編集、アップロードすることが可能。人とデータを共有するグループウェアのような使い方もある。
け	県産業労働センター	「中小企業の経営・創業支援」「国際ビジネス支援」「新たな雇用の創出促進」など、多様な産業労働支援を図るための拠点として設置された施設。愛称は「ウインクあいち」。
	県有知財・県有特許	県の試験研究機関において創出された特許等。
こ	(独)工業所有権情報・研修館(INPIT)	産業財産権制度を利用する事業者や国民が必要とする、特許等の産業財産権情報の提供サービス、相談窓口等による情報提供と支援サービス、知的財産の戦略的活用に関するサービス、知的財産人材の育成を支援するサービス等を行う独立行政法人。

	江蘇省との経済連携	中国の江蘇省とは、昭和55年より友好提携協定を結んでおり、産業、文化、教育など幅広い分野での交流を進めてきたが、江蘇省への本県企業の進出は、中国では上海市に次いで2番目に多いという経済的な結びつきを踏まえ、それまでの友好提携の実績を踏まえつつ、さらに一步踏み込み、幅広い経済分野で双方にメリットのある連携関係を築いていくことが重要と考え、平成20年10月に経済分野の交流強化にかかる合意文書を締結した。
	高度計測分析機能	顕微鏡観察や表面分析、光分析、構造解析、質量分析、X線観察等の高度計測分析について「知の拠点あいち」で実施可能。
	コーディネータ	物事が円滑に行われるように、全体の調整や進行を担当する人。いろいろな要素を統合したり調整したりして、一つにまとめて上げる係。
	国際出願(PCT出願)	本国への手続きにより、特許協力条約(PCT: Patent Cooperation Treaty)加盟国全ての国での、出願日が確保できる国際出願の方法。中小企業にも、有利な制度となっている。
	(株)国際デザインセンター	デザインに関する諸事業を通じ地域の産業振興・文化の発展を図るとともに、国際社会に貢献する情報発信拠点となることを目的に設立された、愛知県、名古屋市および地元民間企業の出資(合計100社)による第三セクター。
	国家戦略特区制度	産業の国際競争力の強化及び国際的な経済活動の拠点の形成に関する施策の総合的かつ集中的な推進を図るため、いわゆる岩盤規制全般について突破口を開いていくもので、国家戦略特区においては規制改革事項等を活用した事業を実施することが可能となる制度。
	COP10	平成22年に名古屋で開催された、多様な生き物や生息環境を守り、その恵みを将来にわたって利用するための国際条約である「生物多様性条約」の締約国による10回目の会議。
	コトづくり	コトづくりとは、単に優れた製品を作るだけでなく、コンセプトやストーリー、ユーザーエクスペリエンスなどの高い付加価値が込められた製品を作ること、そのような付加価値を創出すること。
	コロニー	「群体」のこと。
	コンテンツビジネス	放送・映画・音楽・漫画・アニメ・ゲームなどのような知的生産物について、その制作・管理・提供にかかわるビジネスのこと。コンテンツ産業。
さ	再生医療関連機器開発研究会	再生医療の現状や課題とともに、医療現場で必要と考えられる再生医療の関連機器や装置、さらには、活用される工学技術などについて、情報提供を行い、幅広く知識・情報の共有を図ることを目的とした研究会。
	XAFS	XAFSとはX-ray Absorption Fine Structureのそれぞれ頭文字をとった略称で、X線吸収微細構造を言う。シンクロトロン光の産業利用で最も利用されている測定方法で、試料にX線を照射して吸収状況を測定することで、原子・分子の距離や数、結合状態等を分析できる。
	サポートデスク	中国に進出した本県企業の支援を行うため、県が江蘇省に設置した支援窓口。
	産業技術センター	製造業の盛んな本県において、機械、金属、プラスチック、木材など幅広い業界を対象として、工業技術分野の技術支援や、有機・無機化学材料、金属・表面加工技術、木質材料・物流技術、バイオ・ナノテク、機械技術、次世代電池などの研究開発・評価、総合技術相談、技術情報の提供を行う県の試験研究機関。
	産業デザイントライアルコア	産業デザインに関する相談、三次元造形装置などの機器を用いた試作、情報提供など、新製品開発に繋がる総合的な支援を行う窓口として、あいち産業科学技術総合センターに設置。
	産業デザイン試作ネットワーク	中小の産業デザイン関連企業と先進的な造形システムを保有する企業等で構成される企業同士の試作ネットワーク。
	産業利用コーディネータ	あいちシンクロトロン光センターに配置されている、触媒・無機材料・有機材料・金属などの幅広い分野に精通した専門家。利用者の窓口となり、相談から利用、課題解決までの一貫したユーザー支援を行っている。
し	CFRP	CFRP(Carbon Fiber Reinforced Plastics)とは、炭素繊維を重ねてプラスチックで固めた複合材料。軽量で鉄並みの強度を持ち、耐食性に優れる。炭素繊維強化プラスチック。
	ジェトロ	独立行政法人日本貿易振興機構。日本と海外の企業の円滑な貿易の進展を目的として設立された。
	次世代ナノ・マイクロ加工技術	重点研究プロジェクト(H23~27)で実施したプロジェクトテーマの一つで、「次世代産業用CFRP構造部材創成技術の開発」、「難加工性材料の超精密・高能率加工技術の開発」、「自動車・航空機用軽量金属/複合部材の開発」のグループテーマで構成される。

JAXA	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構の略。政府全体の宇宙開発利用を技術で支える中核の実施機関と位置付けられ、同分野の基礎研究から開発・利用に至るまで一貫して実施。
上海IPG	中国において、模倣品や海賊版といった問題に対処するため、情報交換や現地政府との協力活動を行う現地日系企業が組織した組織。2013年4月に、北京IPG、広州IPGと統合し、現在は中国IPGとして活動。
少年少女発明クラブ	発明協会創立70周年の記念事業の一環として、1974年にスタートした事業。現在、全国47都道府県に218か所、約8500名の子どもたちと約2800名の指導員が活動している。(73ページ参照)
商標	自社の商品やサービスを他社のものと区別するために使用するマークなど。産業財産権の一つ。
食品工業技術センター	食品業界の中核的な技術支援機関として、製品の高品質化、製造工程の効率化のための研究開発や、新素材・新製品の開発、更にはバイオテクノロジー、センサ及び殺菌・保存技術など今後大きなインパクトを与えることが予測される先端・先進技術の開発・研究を行う県の試験研究機関。
新あいち創造研究開発補助金	次世代自動車や航空宇宙など、将来の成長が見込まれる分野において、企業等が行う研究開発・実証実験を支援する補助制度。
シンクロトン光センター	次世代モノづくりに不可欠なナノレベルの先端計測分析施設として、産・学・行政が連携した「地域共同利用施設」として平成25年3月に設置。
シンクロトン光	ほぼ光速で直進する電子が電磁石によって進行方向を変えられた際に発生する電磁波。非常に明るく(通常の計測装置の千倍から百万倍)、1台の装置でマイクロ波、赤外、可視、紫外からX線まで連続した波長の光を出すことができ、「夢の光」と言われている。
す スーパーサイエンスハイスクール	文部科学省では、将来の国際的な科学技術関係人材を育成するため、先進的な理数教育を実施する高等学校等を「スーパーサイエンスハイスクール」として指定し、学習指導要領によらないカリキュラムの開発・実践や観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習等を支援。愛知県内では10校が指定。
せ 全日本児童発明くふう展	(公社)発明協会が開催する、子供たちの発明と工夫の全国展。恩賜表彰と11の特別賞などが選ばれる。
そ 創意工夫功労者表彰	優れた創意工夫により、科学技術の進歩や改良に寄与した個人等を文部科学大臣が表彰するもの。
創業コーディネーター	(公財)あいち産業振興機構の創業プラザあいちに常駐し創業に関する様々な相談に対応する専門家。
ソーシャルネットワーク	インターネット上でコミュニティを形成し、ユーザー同士が様々な形でコミュニケーションできる会員制サービス。
ち 地域計測分析機器情報提供システム	「知の拠点あいち」を始めとする中部地域の計測分析機器について、企業の活用利便性を提供するため、愛知県が、大学、研究機関、公設試験研究機関の協力を得て運営しているシステム。
地域資源	地域の特徴的な工芸品や農林水産物、自然、文化、歴史などの資源。(60ページ参照)
地域団体商標	地名と商品名やサービス名からなる商標。H18から申請要件が緩和され、全国レベルで登録が拡大。また、平成26年8月1日からは、事業協同組合に加え、商工会、商工会議所、特定非営利活動法人(NPO法人)並びにこれらに相当する外国の法人も、地域団体商標の出願をすることができるようになった。
知財経営	競争力の源泉として知的資産を経営戦略に位置づけ、事業活動に組み入れること。
知的財産経営サロン	中小企業の知財経営導入実践を図るため、日本弁理士会東海支部と共催で行う専門講座。
知財総合支援窓口	中小企業等が経営の中で抱えるアイデア段階から事業展開までの知的財産に関する悩みや相談を、窓口支援担当者がワンストップで受け付ける(全国57か所に設置)。
知財ビジネス評価書	中小企業が持つ知的財産権について、その技術内容等を含めたビジネス全体を評価したもの。この評価書によって当該企業の技術力や成長性・経営力を評価することで、企業価値のアピールや円滑な資金調達に繋がることが期待されている。
知財ビジネスマッチング	大企業等が保有する特許等を中小企業に開放し、それを活用して中小企業の新たな事業の創出につなげる取組。(54ページ参照)

	知的財産基本法	「知的財産基本法」とは、知的財産戦略大綱に基づいて2002年12月に制定された法律。「知的財産基本法」は、知的財産の創造、保護及び活用に関する施策を集中的かつ計画的に推進することを目的とし、知的財産の取り扱いに関する国、地方公共団体、大学等及び事業者の責務等を明確化した他、内閣に知的財産戦略本部を設置し、知的財産の創造、保護、活用及び人材の確保に関して施策を行うことを明記している。
	知的資産評価	特許権等企業が保有する無形資産を把握し、それを「見える化」すること。
	知的所有権センター	特許流通と特許情報利用のため、国が各都道府県に設置（H23年度からは、特許流通を中心に県等が運営）。
	知の拠点あいち	付加価値の高いモノづくり技術を支援するため、愛知県が平成23年度に整備した最先端の研究開発環境を備えた研究開発拠点。あいち産業科学技術総合センターや（公財）科学技術交流財団が立地し、重点研究プロジェクト等が実施されている。（30ページ参照）
	知の探究講座	県内6つの大学の協力のもと、より多くの高校生に先進的な理数教育を受ける機会を積極的に与え、科学技術創造立国を目指す我が国を支える優れた人材を育成することを目的として開催。
	地理的表示保護制度	地域には長年培われた特別の生産方法や気候・風土・土壌などの生産地の特性により、高い品質と評価を獲得するに至った産品が多く存在しており、これら産品の名称（地理的表示）を知的財産として保護する制度。農林水産省が所管している。
と	東海北陸コンポジットハイウェイ構想	名古屋大学をはじめ、東海及び北陸地域の研究機関等が中心となり、複合材料に関する研究開発から生産・加工・組立までを行う世界に冠たる一大拠点・産業集積の形成に向けた様々な取組を展開する構想
	統括・担当マネージャー	（公財）あいち産業振興機構において、中小・小規模企業が抱える経営、金融、税務、技術、ITなど様々な相談に対応する専門家。
	特許	新規かつ有用な発明を公開する代償として、一定期間の独占権を国が付与すること。発明奨励と産業発展が目的。
	特許活用コーディネーター	愛知県の知財ビジネスマッチングの取組において、企業の掘り起しからマッチング、事業化支援までをサポートする専門家。
	特許マップ	特許情報を図面、グラフ、表などで表し、技術動向を把握・整理するもの。技術開発や経営戦略の立案に当たって活用される。
	特許流通コーディネーター	愛知県知的所有権センターにおいて、特許技術の流通支援や県所有の特許の紹介など、個人・企業の方々を対象に知的財産の活用に関する相談、アドバイスをを行っている。
	特許料等の減免制度	個人・法人、研究開発型中小企業及び大学等を対象に、審査請求料と特許料（第1年分から第10年分）及び国際出願に係る調査手数料等の納付について、一定の要件を満たした場合、減免措置が受けられる。
な	ナノテクノロジー	原子や分子の配列をナノメートル（1mmの100万分の1）スケールで操作、制御することで、現存する物質とは異なる構造、性質の物質を作り出す技術。
	ナノテクプラットフォーム	ナノテクノロジーに関する最先端の研究設備とその活用のノウハウを有する機関が緊密に連携して、全国的な設備の共用体制を共同で構築するもの。県内では、名古屋大学、名古屋工業大学、豊田工業大学、自然科学研究機構分子科学研究所が参画。
	ナノマテリアル	その大きさがナノサイズである材料で、組成単位がごく小さくなることにより、ナノマテリアル特有の物性を示すことが知られており、従来の材料にはない優れた性質を有する新素材が得られる可能性が高いと言われている。
に	21世紀高度先端産業立地補助金	航空宇宙、環境・エネルギー、健康長寿など高度先端分野における工場の新設等大規模投資を支援する補助制度。
の	農商工連携	農林漁業者と商工業者等が通常の商取引関係を超越して協力し、お互いの強みを活かして売れる新商品・新サービスの開発、生産等を行い、需要の開拓を行うこと。
	農商工等連携促進法	中小企業者と農林漁業者との連携による事業活動の促進に関する法律。平成20年7月に施行された。
	ノウハウ	産業上利用可能で秘密にされた技術的情報。技術的指導といった無形のものも含まれる。
は	パワーデバイス	インバーターやコンバーターなどの電力変換器に用いられる半導体素子であり、その用途は、電気自動車、ハイブリッド自動車、エアコンなどのインバーター制御等がある。

ふ	ファインセラミックスセンター	1985年にファインセラミックスに関する研究、試験、評価を行う公益法人(現在:一般財団法人)として設立。
	ブランド	地域や企業の独自性や価値を代表するシンボル、呼称等。家畜の所有権を示す焼き印が語源。
	ふるさと名物応援事業補助金	地域の優れた資源を活用した新商品・新サービスの開発や販路開拓に取り組む中小企業者に対し、市場調査、研究開発に係る調査分析、新商品・新役務の開発、展示会等の開催又は展示会等への出展、知的財産に係る調査等の事業に係る経費の一部を補助する制度。
	フロンティア	学問・技術の最先端。最先端の業績。
	プローブ情報	実際に自動車が行った位置や車速などの情報を用いて生成された道路交通情報。
ほ	冒認出願	権利を有しない第三者による出願。日本の地名が海外で出願される事例が発生している。
	ポートフォリオ化	複数の知財を組み合わせた「群管理」。知財の価値や防衛力を確保する戦略的な知財管理手法。
	ポストドク	ポストドクターの略。博士課程を終了し、常勤研究職になる前の研究者のこと。
ま	マザー機能(工場)	高い技術力・開発力・マネジメント力などの機能を備えた工場や研究開発拠点。
め	メディカル・デバイス産業振興協議会	産学官の力を結集した当地域の医療機器産業振興の推進母体として、医療機器産業の振興・発展を目的とする協議会。事務局は名古屋商工会議所。
も	模倣品	既に流通している商品を模倣(特許権や商標権を侵害)した商品のこと。著作権を侵害した商品は海賊版と言われる。
よ	よろず支援拠点	中小企業・小規模事業者の経営上のあらゆる悩みを解決する無料相談窓口。(公財)あいち産業振興機構に設置。
ろ	6次産業化	1次(農林水産)、2次(製造)、3次(小売)産業の一体化により、農林漁業者の経営多角化を目指す造語。
	ロボカップ	ロボット工学と人工知能の融合、発展のために自律移動ロボットによるサッカーを題材として日本の研究者らによって提唱された大会。